

熊本県博物館ネットワークセンターだより 熊本の自然と文化

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

2024年10月24日

No. 59



©2010 熊本県くまモン

イベント情報 (令和6年10月～令和7年2月)

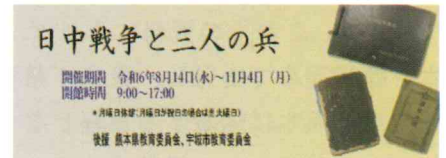
企画展

会場：熊本県博物館ネットワークセンター 入場無料

第2回企画展「日中戦争と三人の兵」

日中戦争に従軍した三人の兵に関する資料をとおして、彼らの戦地における「日常」に焦点をあてます。

○開催期間 令和6年8月14日(水)～11月4日(月)



第3回企画展「ミュージアムパートナーズクラブくまもとの大地の成り立ち～その10年間の記録～」

ミュージアムパートナーズクラブ「くまもとの大地の成り立ち」で採集した標本や活動の成果を紹介します。

○開催期間 令和6年11月12日(火)～令和7年2月2日(日)



くまもとキッズミュージアム in 玉名

○開催日時 令和7年2月1日(土) 午前10時～午後4時

○開催場所 玉名市民会館会議棟

県内の博物館や資料館が集まって、子どもたちが自然や伝統文化を学べる体験学習を行います。まが玉や古代組紐、石函鑑、化石か古銭のレプリカなどをつくるプログラムを予定しています。原則参加申し込み制ですが、一部申込み不要のプログラムもあります。詳細は、案内チラシまたは、熊本県博物館ネットワークセンターホームページなどでお知らせします。



フィールドミュージアムへ飛びだそう！

プログラム名	開催場所	日時	定員	内容	受付期間
化石の観察をしよう	上天草市龍ヶ岳町 柵島	11月30日(土) 10:00～12:00	20名	専門家とともに、白亜紀の地層や化石を観察します。	10月26日 ～11月14日
水辺の冬鳥を観察しよう	熊本市 江津湖	12月22日(日) 10:00～12:00	20名	カモ類など、江津湖にやってくる鳥を観察します。	11月17日 ～12月5日

対象：幼児～一般 ※小学校3年生以下は保護者同伴

申込み方法：熊本県・市町村共同システム「熊本県電子申請システム (LoGo フォーム)」または、往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望プログラム名をご記入の上、申し込みください。申込み多数の場合は抽選で参加者を決定します。右側の二次元バーコードからも申し込みができます。



申込フォーム

(往復はがきで申込みの場合は、返信用はがきに住所・氏名を記入してください。締切必着。)

記載されている行事は、感染症や災害等の影響により日程や募集人員が変更になる場合があります。詳細は当センターにお問い合わせいただくか、ホームページで御確認ください。

No. 304
歴史

靖国神社臨時大祭関係資料

靖国神社は明治2年(1869)に創建された招魂社を起源とし、明治維新の際の犠牲者と明治以降の戦没者を祭神として祀っています。合祀にはまず、陸海軍大臣へ進達された戦没者を軍当局が審査し、最終的には天皇の裁可を得て臨時大祭の招魂式において合祀されるという手順がとられました。

本資料は阿蘇郡野尻村(現高森町)出身の故安藤幸男准尉が、昭和16年(1941)4月に合祀された際の臨時大祭の案内で、他にも参拝旅行日程、班分け表、注意事項などが合せて遺族に送られています。これらの資料によれば、安藤家の場合は4月21日に熊本を臨時列車で出発し、東京で祭礼や行事に参加した後、再び臨時列車で熊本に帰着する日程となっています。臨時大祭は1週間ほどかけて行われ、招魂式のほかにも事変関係展覧会や劇場での慰安会、観兵式などの行事が催されました。参列する遺族には世話人や食事の用意のほか、博物館や無料観覧券の配布や宿泊費・交通費の補助もあるなど、手を尽くした持て成しがなされています。戦没者を合祀する臨時大祭の場に、遺族がどのように参加したのかがうかがえる資料といえます。(古澤 広大)

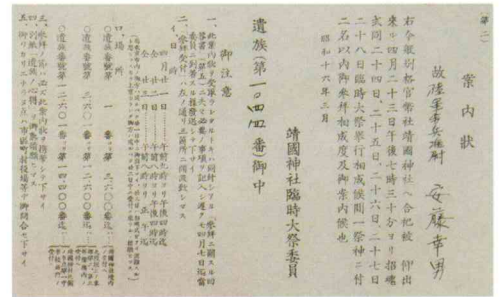


図1 案内状

第一班(熊市、熊、玉、鹿、菊、阿、上、各部)	日次	時刻	行	動
五月一日	前八時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月三日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月四日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月五日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月六日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月七日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月八日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月九日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十一日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十二日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十三日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十四日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十五日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十六日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十七日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十八日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月十九日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十一日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十二日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十三日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十四日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十五日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十六日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十七日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十八日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月二十九日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着
五月三十日	前二時	熊本着	熊本着	熊本着
五月三十一日	前九時	熊本着	熊本着	熊本着

図2 靖国神社遺族参拝旅行日程表及注意事項(部分)

No. 305
地学

おうてっこう 黄鉄鉱

人吉市東大塚町に流れる桑木津留川流域には、熱水の影響を受けて変質した安山岩が分布しています。熱水によって安山岩が変質する時、熱水の成分によって様々な鉱物がつくられます。こうしてつくられた鉱物の中には、『熊本の自然と文化』16号で紹介したソロバン玉石(No.85)や今回紹介する黄鉄鉱があります。

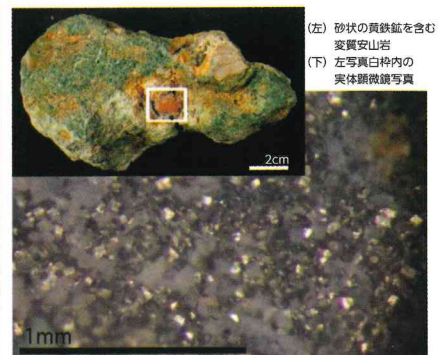
桑木津留川では、黄鉄鉱は緑色を帯びた岩石の中に含まれます。この緑色は、熱水の影響でつくられた緑色の鉱物によるものです。このような岩石の中に、キラリと光る金属光沢が見えたら、拡大鏡で良く観察してみましょう。図1のような立方体の結晶だったら、それは黄鉄鉱です。黄鉄鉱は硫黄と鉄が結びついてできた鉱物で、多くが立方体や八面体、五角十二面体の黄金色の結晶として産出します。なかには風化して一部が褐鉄鉱に変質したものもあり、図1の岩石中にも褐鉄鉱に変質した茶色の結晶が見られます。また、図2の岩石中には金属光沢をもつ砂の集まりがあります。これを実体顕微鏡で拡大してみると、0.1mmにも満たない立方体の結晶が集まっています。

黄鉄鉱は、硫化鉱物の中では最もありふれており、色々な岩石に含まれています。金鉱石にも含まれ、金と間違えるために、「愚か者の金」と呼ばれています。(廣田 志乃)



(上) 黄鉄鉱の立方体結晶を含む変質安山岩
(右) 左写真白枠内の実体顕微鏡写真

図1 黄鉄鉱の立方体結晶のようす



(左) 砂状の黄鉄鉱を含む変質安山岩
(下) 左写真白枠内の実体顕微鏡写真

図2 砂状の黄鉄鉱を拡大すると小さな立方体の結晶が確認できる

No. 306
民俗

つるべ
釣瓶

「秋の日は釣瓶落とし」は、秋の日暮れの早さを釣瓶がストーンと井戸に落ちてゆく様に例えたことわざですが、その早さを実感できる人はもう少ないのではないのでしょうか。そもそも釣瓶を知らない世代も増えてきました。

釣瓶とは縄や竹の先につけて井戸の水を汲み上げる道具です。「瓶」は液体を入れる容器のことで、釣瓶には木製の桶が古くから使われていました。

図1の釣瓶は地表から水面までが深い井戸で使われていたものです。落下の衝撃に耐えられるよう、水面に浮かずに沈むよう、引き上げている途中で底が抜けないよう、重く頑丈に作られていました。しかし重い釣瓶に水をいれるとさらに重くなるため、楽に汲み上げられるよう、図2のような滑車を利用していました。明治末ころには、木桶よりも軽くて丈夫な金属製の釣瓶も増えていきました(図3)。

昭和30年代までは各地に共同井戸があり、釣瓶はとても身近な道具でした。井戸の周りでは洗濯する人や水を汲みに来る人が集まっておしゃべりする井戸端会議に花を咲かせていました。(迫田 久美子)



図1 釣瓶
(玉名市)



図2 井戸の滑車
(阿蘇市)



図3 釣瓶(熊本市)

No. 307
動物

シオマネキ *Tubuca arcuata* (スナガニ科)

シオマネキ(図1・2)は、国内では東京湾以南の本州、四国、九州、沖縄島の限られた場所に生息しているカニの一種で、主に泥干潟上部のヨシ原周辺で見られます。オスは片方のはさみだけが極端に大きくなるのが特徴で、このはさみを繰り返し振り上げ続ける求愛行動(ウェービング)が、満ち潮を招いているように見える事からこの名が付けました。もともと生息環境が限定されている上、河川改修や埋め立てなどで干潟が消失し、産地・個体数ともに減少しつつあることから、環境省(2020)のレッドリストで絶滅危惧II類、熊本県(2019)のレッドデータブックで絶滅危惧IB類とされています。

図1の標本は、宇城市不知火町の干潟で採集されたものです。ここでは前々号・前号で紹介したムツゴロウやアズキカワザンショウをはじめ、貴重な干潟の生き物たちが今なお豊富に生息しています。熊本の原風景とも言える、有明海・八代海の干潟とそこに暮らす生き物たち。互いに関わり合いながら生きるそれら全てを地域の財産として守り育てる事が、昨今問題となっているアサリやタイラギなどの漁獲量減少に歯止めをかける一番の手立てのように思えてなりません。(中菌 洋行)



図1 シオマネキ標本(宇城市産)



図2 シオマネキ生態写真(宇城市)

No. 308
植物

タコノアシ *Penthorum chinense* (タコノアシ科)

タコノアシは、タコノアシ科タコノアシ属の多年草です。なんとも変わった和名の由来は、この植物の花序を見ると一目瞭然です。茎の先端から複数の枝が放射状にのび、その先が外向きに丸まる様子は、まさに海に生息する「蛸(タコ)」の足を逆さにしたようで、枝の上に付く花や果実はタコの吸盤のようです。(図1)。果実が成熟する時期には赤く色付き、ますますタコ感が増して「茹で蛸」のような外観になります。1つの花は直径5mm程度と小さいですが、ルーペなどでのぞくと、花弁はなく、5枚のがく、10本の雄しべ、5つほどの雌しべをそなえた可愛い形である事に気づけます(図2)。一度出会うとなかなか忘れられない植物です。湿地や水田、川原などの湿った環境に生育し、地下茎があり、地上の茎は真っ直ぐ上に伸びて、上記のような特徴的な花序をつけます。結実後、冬には地上部は枯れてしまいます。

タコノアシは河川の氾濫や人による耕作などの攪乱を受ける環境を好むようです。そのような環境で、タコノアシが継続して生育したり、広がったりする事が知られています。タコノアシは長さ0.7mmほどの小さな種子をたくさんつくり(図3)。種子は光がある環境で発芽し、暗い環境では発芽しないことが分かっています。暗い土中で眠っていた種子は、地面が攪乱されて光が当たると発芽すると考えられ、攪乱がある環境に適応した性質と思われる。

タコノアシは、近年減少しています。環境省レッドリスト2020では準絶滅危惧、レッドデータブックくまもと2019では絶滅危惧II類に選定されています。



図4 タコノアシの標本
(宇城市産)

タコノアシが生育するような攪乱がおこる湿地環境は、改修工事や開発が行なわれやすく、タコノアシの生育適地が減少しているためであると考えられます。

図4の標本は、2024年2月に宇城市で見つかったタコノアシの標本です。真冬に枯れ残っていたもの(図5)を標本にしたため保存に注意を要しますが、これまでの当センターの収蔵標本には宇城市産のタコノアシはなく、貴重な標本となりました。(前田 哲弥)



図1 開花中のタコノアシの花序(宇城市)



図2 タコノアシの花



図3 タコノアシの種子



図5 真冬のタコノアシの様子(宇城市)

熊本県博物館ネットワークセンター

ISIL JP-2004104

〒869-0524 宇城市松橋町豊福1695

TEL: 0964-34-3301 FAX: 0964-34-3302

E-mail: hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

HP: <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

[公共交通機関]

○九州産交バス

松橋バスターミナルより宮原経由

八代産交行き「希望の里入口」下車

○JR 松橋駅より約3km

